

まちだ下水道 GESUIDO 通信

まちだ下水道

2021年9月発行

たまには
下水どう？

発行:町田市
編集:下水道部
下水道経営総務課
〒194-8520
町田市森野2-2-22
TEL:042-724-4287
FAX:050-3161-6448

9月10日は下水道の日です。町田市の下水処理場の仕組みや下水道の役割について紹介します。

No.7

下水処理場を案内するよ！

問い合わせ
水再生センター ☎720-1825

1 沈砂池

下水道管を通ってきた汚水は沈砂池に流れてくるよ。沈砂池では機械を使って大きなゴミや砂などを取り除いているよ。



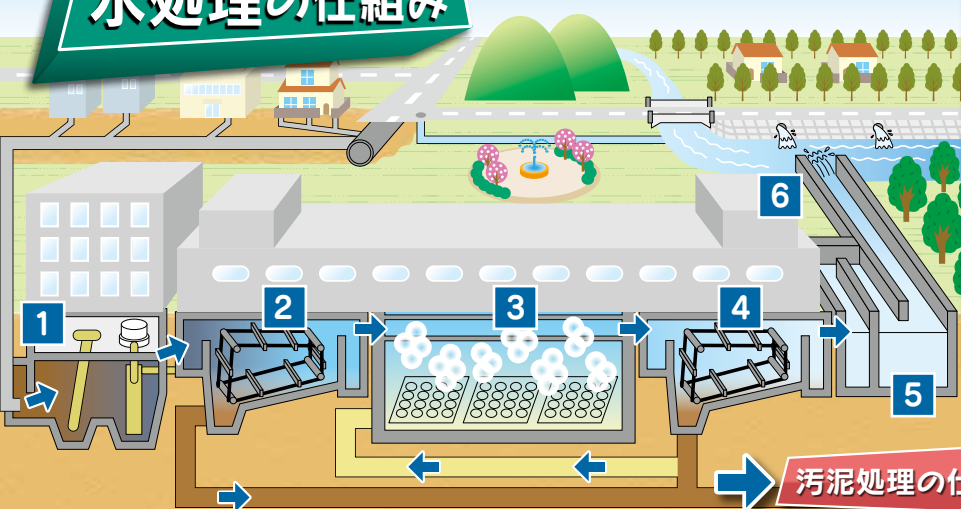
2 最初沈殿池

汚水をゆっくりと流すことで、小さなゴミやドロ(汚泥)を沈ませているよ！



みんなの家やお店から出た汚れた水は、下水処理場へ運ばれているんだよ。下水処理は、水処理と汚泥処理から成り立っているんだ。町田市には成瀬クリーンセンターと鶴見川クリーンセンターの2箇所の下水処理場があるよ。今回は、成瀬クリーンセンターの仕組みを学んでみよう！

水処理の仕組み



汚泥処理の仕組みへ

3 反応タンク

水中に溶け込んだ汚れを微生物たちが食べて、水をきれいにしているよ！



4 最終沈殿池

微生物を含む汚泥を底に沈めて、きれいになった水と分離するよ。微生物を含む汚泥のことを「活性汚泥」と呼ぶんだ。沈んだ活性汚泥は汚泥処理に進むよ。



5 塩素混和池

この地面の下に大きな池があるよ。最終沈殿池できれいになった水に塩素を入れて、消毒するよ。



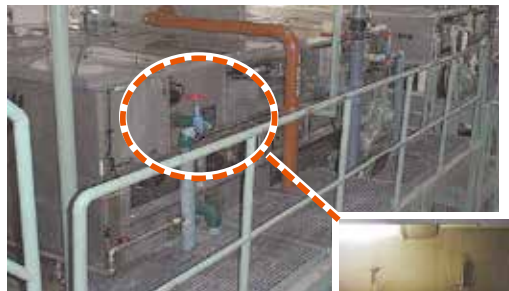
6 放流口

きれいになった水を恩田川に流しているんだ！



7 脱水設備

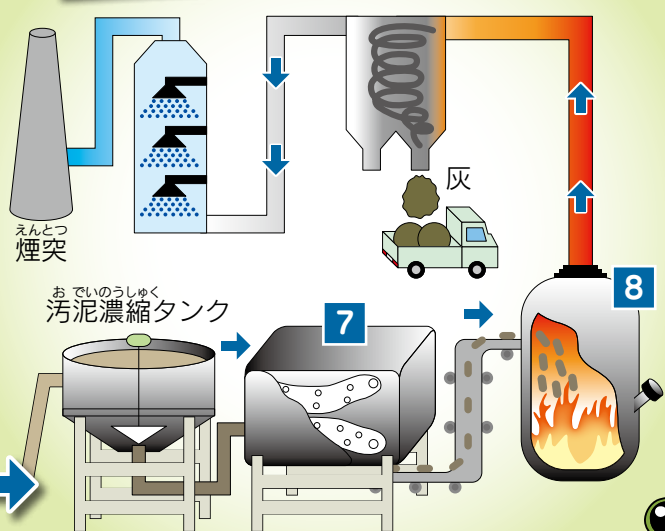
汚泥に含まれる水分を、布ではさんでしぼったり、スクリーンで押しつぶして取り除くよ。



この土の壁みたいに見えるのが汚泥なんだって！

水処理の仕組みから

汚泥処理の仕組み



焼却して残った灰は、建設用の材料やセメントなどにリサイクルされるんだ。下水処理場では水だけでなく汚泥も処理しているんだね。

8 焼却炉

脱水された汚泥を燃やして灰にするよ！



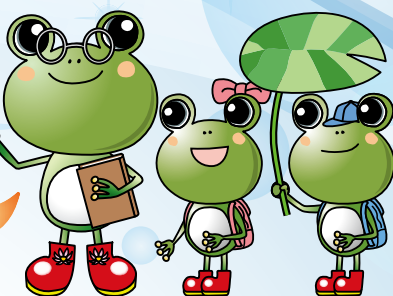
焼却炉の温度は850℃！アツいケロ！

1日に燃やす量は約70トン！すごい！

灰がリサイクルされているなんて知らなかった。もっといろいろ調べてみたいな。

燃やしやすいように、水分を少なくしているのか！

鶴見川クリーンセンターの施設についてもこちらの動画からみてね



町田市下水道キャラクター「雨かえる」





災害時も衛生的なトイレ環境を確保するために

マンホールトイレの整備を進めています

大きな災害が起こって水道が使えなくなった時でも、トイレには行きたくなります。そんな時にも衛生的にトイレを利用できるよう、避難施設にマンホールトイレの整備を進めています。2020年度末時点で43施設への整備が完了しています。

はじめての人でも、2人で簡単に組み立てられるよ

問い合わせ
下水道整備課 ☎724-4301



マンホールトイレの組み立て方

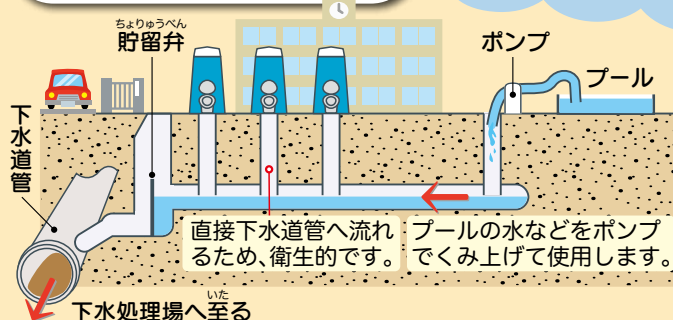
組み立てるときは、防災倉庫内のマニュアルを参考にしてください。



マンホールの蓋を開け、内蓋を取る
便座を組み立て、プレートに固定する
テントを広げ、便座の上に設置する
風で飛ばされないようにテントの四隅を紐で固定し、完成

マンホールトイレは、下水道管に直接つながっています。プールの水を使って流すことができ、くみ取り式の仮設トイレに比べて臭いも抑えることができます。

マンホールトイレの仕組み(概要図)



プールの近くにマンホールが並んでいたのは、トイレに使うためだったんだね！



マンホールトイレの整備状況を公開しています▶



快適な生活を守るために

油は燃やせるゴミとして処分しましょう

台所から油を流すと、排水管が詰まったり悪臭の原因になります。古紙で吸い取るか、固める製品を使って、燃やせるゴミとして処分しましょう。使い終わった食器や鍋は、油汚れを拭き取ってから洗いましょう。

下水道管が油によって詰まると、油を流した家やお店だけでなく、周りに住む人たちも、詰まりを取り除くまで水を流せなくなることがあります。皆さまが快適に下水道を使えるよう、今後ご協力をお願いします。



実際の写真
ラード(油脂分)が詰まった下水道管

油が固まるとこんなになっちゃうの?!

みんなで気を付けなくちゃ



問い合わせ
下水道管理課 ☎724-4330

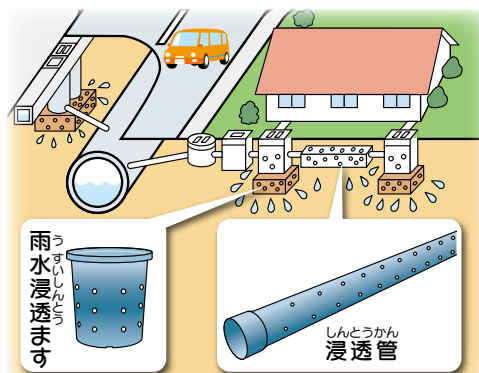
浸水被害を減らすために

宅地内への浸透設備設置に補助金を交付しています

「浸透設備」は、雨水を地中にしみ込ませる装置です。雨水は道路の側溝などから直接河川へ流れていますが、たくさんの雨水が一度に流れ込んでしまうと、川が溢れてしまいます。浸透設備を設置し、雨水を地中にしみ込ませることで、河川の増水を防ぐことにつながります。

町田市では、浸透設備の設置に対して、補助金を交付しています。住宅を新築・改築する際にも利用可能ですのでご相談下さい。

※補助金には限りがあります。また、交付には条件があるので、事前相談をお願いします。



浸水被害を減らすために、自分の家でできることもあるんだね!



問い合わせ
下水道管理課 ☎724-4330

下水道を使い続けるために

下水道施設の維持管理のために下水道使用料が使われています

下水道使用料は、2か月に一度、水道料金とあわせてお支払いいただいています。町田市の下水道使用料は、①基本料金と②従量料金を足し合わせた金額となっています。

①基本料金(税抜)	
0～16m ³	1,120円
②従量料金(排水量に応じた金額)	
排水量	1m ³ ごとの単価(税抜)
17～40m ³	(a) 110円
41～60m ³	(b) 140円
61～100m ³	170円
101～200m ³	200円

2か月で45m³を排水した下水道使用料の例

- 基本料金→1,120円……①
- 従量料金→(40m³－16m³)×110円＝2,640円……②(a)
(45m³－40m³)×140円＝700円……②(b)
- 使用料→①＋②(a)＋②(b)＝4,460円
4,460円×1.10＝4,906円(税込)

※201m³以上についてはお問い合わせください。



問い合わせ
下水道経営総務課 ☎724-4295

排水量＝水道水量(水道メーターで計測した水量)とみなして算出しているんだ。井戸水など水道水以外の水を下水道に流している場合は、その分も加えて算出しているよ。



きれいな水に戻すために下水道使用料が使われているんだね

